

# 情報コミュニケーション学会 第19回全国大会プログラム

大会テーマ：

『プログラミング教育を考える』

2021年3月12日（土）・3月13日（日）  
オンライン開催（ホスト校：青山学院大学）

主催 情報コミュニケーション学会  
協賛 青山学院大学社会情報学部

## 第 19 回情報コミュニケーション学会全国大会を迎えるにあたり

情報コミュニケーション学会会長  
畿央大学 西端律子

情報コミュニケーション学会第 19 回全国大会の開催にあたりまして、会長としてご挨拶申し上げます。

今回第 19 回大会も、第 17 回、第 18 回に引き続き、オンライン開催といたしました。今回はできるだけ現地開催も視野に入れ準備をしてきましたが、参加者の皆様の安全安心を優先とさせていただいたこと、ご理解賜れば幸いです。

新型コロナウイルス感染症の流行から 2 年がたとうとしています。「with コロナ」の生活様式にも少しずつ慣れ、オンラインの授業やミーティングも増え、改めてコミュニケーションとは何かを考えるようになりました。時間や場所の制約がなくなり、できることも増えてきたと同時に、直接会うことの大切さも実感されている方も多いのではないのでしょうか。

さて、本学会の英語表記は「Japan Association for Communication, Information and Society」であり、「情報」と「コミュニケーション」そして「社会」がキーコンセプトです。そして、学会ロゴにもある通り、これら 3 つの概念が交わるところが我々の向かうべきところです。情報がコミュニケーションを発生させ、コミュニケーションが社会を変えていくことは、言語が発生した古来より変わることはありません。コロナ禍の現在においても、3 つの概念の交わる場所で、我々がそれぞれの役割を全うし、そして次世代に引き継いでいくことが、本学会の希求する所です。

本大会のテーマは「プログラミング教育を考える」といたしました。プログラミングによって社会が変わること、変えることができることは、家電製品や交通システムなどの日常生活の中で子どもたちも理解できますが、この背景には、作り手と使い手のコミュニケーションが大前提になっていることもあわせておさえておきたいところかと存じます。本大会においても、さまざまなコミュニケーション、さまざまな議論がうまれることを期待しております。

最後になりましたが、皆様方、そして皆様方に関わる全ての方々のご健康を祈念しつつ、会長挨拶とさせていただきます。

## 第 19 回 情報コミュニケーション学会 全国大会を迎えて

第 19 回 情報コミュニケーション学会全国大会実行委員会委員長  
青山学院大学 寺尾 敦

第 19 回全国大会へようこそ。

今大会は青山学院大学相模原キャンパスで実施予定でしたが、コロナの感染状況が悪く、3年続けてのオンライン開催となりました。キャンパスでお会いできないことは残念ですが、各地からのアクセスがやや悪い相模原キャンパスにわざわざお越しいただく必要がなくなったという、プラス面に目を向けたいと思います。

オンラインの会場は Cisco Webex Meeting を利用します。今大会に青山学院大学社会情報学部の協賛をいただきましたので、会議室をお借りして、すべてのオンライン会場をコントロールします。社会情報学部では、2020 年度と 21 年度の卒業研究発表会をこの方法で経験してきましたので、オンラインでの大会運営を円滑に実行できると考えています。参加者の視点では、Webex は ZOOM と類似したところが多いので、それほど困難なくご参加いただけるはずです。オンライン会場への入口となるリンクは大会 Slack「CIS 第 19 回全国大会」で掲示します。

今大会での発表リストを見て、学生（学部生と大学院生）の発表が多いことに気がつきました。一般研究発表 47 件のうち、およそ半数が学生による研究発表です（プログラムの発表番号横に \* が付されています）。卒業研究や修士論文、あるいはその中間成果が発表されるのだらうと思います。はじめての学会発表でしたら、きっとよいデビュー戦となることでしょう。今後も何らかの形で情報コミュニケーション学会に関わっていただきたいと思います。私自身、学部を卒業してすぐに行った学会発表がとてもよい経験となったことを思い出しました。

今大会のテーマは「プログラミング教育を考える」です。このテーマのもと、ラウンドテーブル・ディスカッションとして、小学校プログラミング教育について議論を行います。ラウンドテーブル・ディスカッションは、話題提供者による議論の題材提供のあと、参加者全体での議論に十分な時間をかけます。どうぞ積極的にご発言ください。さまざまな研究が発表される中で特定の大会テーマを掲げるべきかどうかを悩んだため、テーマ公表が遅くなってしまったことをお詫びいたします。

それでは、2 日間の大会をお楽しみください。

情報コミュニケーション学会第19回全国大会 日程表

第一日目 2022年3月12日(土)

青字部分はWebexミーティングへのリンク

時刻	イベント		
13:00-13:15	<p><b>オープニングセッション</b>  <b>開会挨拶</b>  <a href="#">[Webex オープニングセッション]</a>                      ミーティング番号: 2510 825 1632 パスワード: jvWqFFkh967</p>		
13:20-15:10	<b>一般研究発表 セッション 1</b>		
	<p>A1                      経済と情報                       座長: 吉見 憲二                      (成蹊大学)   <a href="#">[Webex 一般研究発表 A1]</a>                      ミーティング番号: 2517 801 6283                      パスワード: JcJ9pku2U7G</p>	<p>B1                      プログラミング教育・                      STEM 教育                       座長: 佐藤万寿美                      (明治大学)   <a href="#">[Webex 一般研究発表 B1]</a>                      ミーティング番号: 2514 936 6575                      パスワード: 8rpDiYZPt83</p>	<p>C1                      キャリア教育                       座長: 杉田このみ                      (専修大学)   <a href="#">[Webex 一般研究発表 C1]</a>                      ミーティング番号: 2517 800 5267                      パスワード: MEfmi43cX7c</p>
15:10-15:20	<b>休憩</b>		
15:20-16:50	<p><b>ラウンドテーブル・ディスカッション</b>  <b>「小学校プログラミング教育を考える」</b>                       寺尾 敦 (青山学院大学社会情報学部)                      阿部 和広 (青山学院大学社会情報学研究所)                      吉田 葵 (青山学院大学社会情報学部)                      南部 和香 (青山学院大学社会情報学部)   <a href="#">[Webex ラウンドテーブル]</a>                      ミーティング番号: 2518 125 8683 パスワード: 5gtEfaVEY52</p>		

情報コミュニケーション学会第19回全国大会 日程表

第二日目 2022年3月13日(日)

青字部分はWebexミーティングへのリンク

時刻	イベント		
10:00-11:50	<b>一般研究発表 セッション2</b>		
	<b>A2</b> 芸術  座長：有賀 三夏 (東北芸術工科大学)  <a href="#">[Webex 一般研究発表 A2]</a> ミーティング番号: 2519 743 4967 パスワード: R8uQEhFzZ63	<b>B2</b> 情報科教育  座長：若杉 祥太 (大阪教育大学)  <a href="#">[Webex 一般研究発表 B2]</a> ミーティング番号: 2517 657 3673 パスワード: avJxRr6pK47	<b>C2</b> 教育システム開発  座長：小田桐 良一 (園田学園女子大学)  <a href="#">[Webex 一般研究発表 C2]</a> ミーティング番号: 2514 113 4349 パスワード: biNgWxcD639
12:00-13:00	<b>総会</b>  <a href="#">[Webex 総会]</a> ミーティング番号: 2517 284 7268 パスワード: seEKiRjg963		
13:00-13:30	<b>休憩</b>		
13:30-15:40	<b>一般研究発表 セッション3</b>		
	<b>A3</b> 社会と情報  座長：本田 正美 (関東学院大学)  <a href="#">[Webex 一般研究発表 A3]</a> ミーティング番号: 2519 967 5065 パスワード: swDuvH25wJ5	<b>B3</b> 情報と教育  座長：庄司 一也 (帝京平成大学)  <a href="#">[Webex 一般研究発表 B3]</a> ミーティング番号: 2511 122 4430 パスワード: 3uAMi4Y5nTP	<b>C3</b> 社会心理  座長：後藤 晶 (明治大学)  <a href="#">[Webex 一般研究発表 C3]</a> ミーティング番号: 2514 438 1502 パスワード: aMJgsNEm276
15:50-16:10	<b>クロージングセッション</b> 閉会挨拶  <a href="#">[Webex クロージングセッション]</a> ミーティング番号: 2510 978 1935 パスワード: eXNQpYUu833		

---

## 一般研究発表 1

---

3月12日(土) 13時20分～15時10分

番号横に \* が付されているのは学生の発表

青字部分は Webex ミーティングへのリンク

### 一般研究発表 A1 経済と情報

[\[Webex 一般研究発表 A1\]](#) ミーティング番号: 2517 801 6283 パスワード: JCj9pku2U7G

座長 吉見 憲二 (成蹊大学)

A1-1\* 現代の恋愛に対する行動経済学的側面からの分析

亀井 隆宏 (明治大学)・関根 海翔 (明治大学)・  
高橋 優輔 (明治大学)・山口 璃太郎 (明治大学)

A1-2\* 被雇用者における単位時間あたりの給料と経験的幸福度の関係

伊藤 浩志 (明治大学)・今泉 葵 (明治大学)・加藤 大貴 (明治大学)・  
川崎 能吾 (明治大学)・後藤 優佳 (明治大学)・後藤 晶 (明治大学)

A1-3\* 規模の弾力性が1でないケースでの中国技術進歩率と雇用者数に対する影響

田 力 (明治大学)・水野 勝之 (明治大学)

A1-4\* ナッジを用いた消毒率の向上

金子 寛尚 (明治大学)・川上 広夢 (明治大学)・水谷 嘉孝 (明治大学)

A1-5 サービス間の口コミの着眼点の差異に関する研究

ーダイエットサプリメントを事例としてー

吉見 憲二 (成蹊大学)・谷本 和也 (佛教大学)・  
田中 康裕 (社会データ構造化センター)・岩井 憲一 (滋賀大学)・  
上田 祥二 (株式会社セールスフォースドットコム)・  
針尾 大嗣 (摂南大学)・小舘 亮之 (津田塾大学)

一般研究発表 B1 プログラミング教育・STEM 教育

[[Webex 一般研究発表 B1](#)] ミーティング番号: 2514 936 6575 パスワード: 8rpDiYZPt83

座長 佐藤万寿美 (明治大学)

B1-1 自然言語処理を題材としたプログラミング的思考のための教材の試作

岩井 憲一 (滋賀大学)・吉見 憲二 (成蹊大学)・  
針尾 大嗣 (摂南大学)・谷本 和也 (佛教大学)・  
上田 祥二 (株式会社セールスフォースドットコム)・  
田中 康裕 (社会データ構造化センター)・小舘 亮之 (津田塾大学)

B1-2\* 小学生向け STEAM ワークショップキットの開発

熊田 敏秀 (東北芸術工科大学)・有賀 三夏 (東北芸術工科大学)・  
下郡 啓夫 (函館工業高等専門学校)

B1-3\* 小学校におけるプログラミング教材を用いた授業実践

木内 麻友美 (青山学院大学大学院)

B1-4 オンライン授業における学習者の行動変容と学びのデザインの検証  
—高等学校共通教科情報におけるプログラミング学習の授業実践事例—

佐藤 万寿美 (明治大学)・山本 恒 (ICT 活用教育研究所)

B1-5\* プログラミング導入教育における

クラウド型協調プログラミング支援システム「PrISM」の開発

藤下 可菜 (青山学院大学)・松澤 芳昭 (青山学院大学)

一般研究発表 C1 キャリア教育

[\[Webex 一般研究発表 C1\]](#) ミーティング番号: 2517 800 5267 パスワード: MEfmi43cX7c

座長 杉田 このみ (専修大学)

- C1-1 初年次必修「アーリー・エクスポージャー型インターンシップ」の効果  
ーキャリアプランニング力アンケートの結果からー  
中嶋 克成 (徳山大学)・寺田 篤史 (徳山大学)
- C1-2 外部講師や受講生からの評価を取り入れた学生の就業意識や気づきを促す  
課題解決プロジェクト(企業課題をテーマにした企画アイデアコンテスト)の実践  
庄司 一也 (帝京平成大学)
- C1-3\* 生きかた見聞録  
ー様々な生きかたの人にインタビューし発信するー  
伊澤 穂香 (専修大学)・石丸 達也 (専修大学)・杉田 このみ (専修大学)
- C1-4 リカレント教育プログラムにおける自己調整学習に関する一検討  
吉田 葵 (青山学院大学)・南部 和香 (青山学院大学)



---

## 一般研究発表2

---

3月13日(日) 10時00分～11時50分

番号横に \* が付されているのは学生の発表

青字部分は Webex ミーティングへのリンク

### 一般研究発表 A2 芸術

[\[Webex 一般研究発表 A2\]](#) ミーティング番号: 2519 743 4967 パスワード: R8uQEhFzZ63

座長 有賀 三夏 (東北芸術工科大学)

A2-1\* ディズニープリンセスイメージの変遷と今後

松永 雪花 (福山大学)・丸山 友美 (福山大学)

A2-2\* 芸術思考の活動を介した意識変容と自己成長

佐原 亜里紗 (東北芸術工科大学)・有賀 三夏 (東北芸術工科大学)・  
下郡 啓夫 (函館工業高等専門学校)

A2-3\* 幸せについてアート表現するプロセスの考察

佐藤 芹香 (東北芸術工科大学)・有賀 三夏 (東北芸術工科大学)・  
下郡 啓夫 (函館工業高等専門学校)

A2-4\* バレエ教育の情意面に着目した指導方法の研究 (1)

大城 結 (芦屋大学大学院)・藤本 光司 (芦屋大学)・  
井村 薫子 (芦屋大学)・伊藤 真央 (芦屋大学大学院)

A2-5\* アーツマネジメントの課題と展望を探る (1)

伊藤 真央 (芦屋大学大学院)・藤本 光司 (芦屋大学)・  
井村 薫子 (芦屋大学)・大城 結 (芦屋大学大学院)

一般研究発表 B2 情報科教育

[[Webex 一般研究発表 B2](#)] ミーティング番号: 2517 657 3673 パスワード: avJxRr6pK47

座長 若杉 祥太 (大阪教育大学)

B2-1 新設「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」の対応と課題

藤本 光司 (芦屋大学)・森下 博行 (芦屋大学)・  
中村 宏敏 (芦屋大学)・林 泰子 (芦屋大学)

B2-2\* 高等学校情報科における効果的な VC 教材の開発と授業実践の研究  
— 一日に特性を抱えた生徒を対象として—

反田 愛 (芦屋大学大学院)・藤本 光司 (芦屋大学)・林 泰子 (芦屋大学)

B2-3 我が国におけるデータサイエンス教育の現状と展望 (2)

永田 侑大 (芦屋学園中学校・高等学校)・若杉 祥太 (大阪教育大学)・  
木村 悠人 (芦屋大学)・納庄 聡 (芦屋学園中学校・高等学校)

B2-4 高等学校情報科におけるデータサイエンス教育の現状と展望(2)

木村 悠人 (芦屋大学)・若杉 祥太 (大阪教育大学)・  
永田 侑大 (芦屋学園中学校・高等学校)・納庄 聡 (芦屋学園中学校・高等学校)

B2-5 自己調整学習モデルを用いたプログラミング教育実践の改善と成果

納庄 聡 (芦屋学園中学校・高等学校)・若杉 祥太 (大阪教育大学)

一般研究発表 C2 教育システム開発

[\[Webex 一般研究発表 C2\]](#) ミーティング番号: 2514 113 4349 パスワード: biNgWxcD639

座長 小田桐 良一 (園田学園女子大学)

- C2-1\* Cisco ルータおよびスイッチの設定を学習する  
フィードバック付き e ラーニングシステムの開発と効果  
萩原 なぎさ (青山学院大学)
- C2-2\* AI じゃんけんゲームのための画像分類モデルの学習の検討  
小田桐 良一 (園田学園女子大学)
- C2-3\* ゲーミフィケーション要素探索システムの開発  
—ユーザの最適なゲーム要素の発見—  
大田和 佳輝 (青山学院大学)・松澤 芳昭 (青山学院大学)
- C2-4 アンチミルク意識に関する尺度構成の試み  
山本 輝太郎 (明治大学)
- C2-5\* 記述式問題の採点における文章同士の類似度の有効性  
柳澤 瑛莉花 (秀明大学)・高見澤 秀幸 (秀明大学)

---

## 一般研究発表 3

---

3月13日（日）13時30分～15時40分

番号横に \* が付されているのは学生の発表

青字部分は Webex ミーティングへのリンク

### 一般研究発表 A3 社会と情報

[\[Webex 一般研究発表 A3\]](#) ミーティング番号: 2519 967 5065 パスワード: swDuvH25wJ5

座長 本田 正美（関東学院大学）

A3-1 府省等におけるウェブアクセシビリティ方針策定と年次試験結果の公開

本田 正美（関東学院大学）

A3-2\* 福島第一原子力発電所事故による福島県の風評被害の現状と払拭策

一人の意識、情報、地域との関係―

古川 幸季（青山学院大学）・南部 和香（青山学院大学）

A3-3\* 貧困農村地域における RASPBERRY PI でのスマート農業

―バングラデシュを対象とした環境を通じて―

アリ エムディ イマラナ（秀明大学）・高見澤 秀幸（秀明大学）

A3-4 新型コロナウイルス感染症における在日米軍のコミュニケーションギャップの考察

北村 知史（奈良工業高等専門学校）

A3-5 テキストマイニングによるプラットフォームの相違点の抽出と可視化

― Q&A コミュニティにおける応答に着目して―

谷本 和也（佛教大学）・吉見 憲二（成蹊大学）・

田中 康裕（社会データ構造化センター）・岩井 憲一（滋賀大学）・

上田 祥二（株式会社セールスフォースドットコム）・

針尾 大嗣（摂南大学）・小舘 亮之（津田塾大学）

A3-6 研究データのデータライフサイクルマネジメントとデータ・個人情報保護制度

田中 康裕（社会データ構造化センター）

一般研究発表 B3 情報と教育

[[Webex 一般研究発表 B3](#)] ミーティング番号: 2511 122 4430 パスワード: 3uAMi4Y5nTP

座長 庄司 一也 (帝京平成大学)

- B3-1 高等学校情報科におけるデータサイエンス教育の実践と成果(1)  
—大阪教育大学附属高等学校 WWL 事業「データサイエンス基礎」をもとに—  
若杉 祥太 (大阪教育大学)・増田 高行 (大阪教育大学附属高等学校)
- B3-2 大学のプレゼン教育における個別指導法の組み込みの研究 (3)  
—GDPS 把握シートを用いた学生の気持ちの把握—  
中谷 陽仁 (大阪商業大学)・佐藤 敦子 (大阪商業大学)・  
正木 幸子 (大阪商業大学)・横山 宏 (大阪電気通信大学)
- B3-3 教育版マイクラフト活用事例報告  
新妻 正夫 (プレイフルラボ/CoderDojo ひばりヶ丘)
- B3-4 医療スポーツ系学生に対する SDGs 教育と学生による SDGs コンテンツの制作  
庄司 一也 (帝京平成大学)
- B3-5 思考力を育成するための授業改善  
—高等学校「生物基礎」において—  
高橋 朋子 (近畿大学)・吉川 武憲 (近畿大学)
- B3-6 縦書き・横書きに対する学生のイメージのテキスト分析  
Liu ZongHao (青山学院大学大学院)・寺尾 敦 (青山学院大学)

一般研究発表 C3 社会心理

[[Webex 一般研究発表 C3](#)] ミーティング番号: 2514 438 1502 パスワード: aMJgsNEm276

座長 後藤 晶 (明治大学)

C3-1 新しいサイバー防犯ボランティア「IP サイバーパトロール」の検討

野田佳邦 (大分県立芸術文化短期大学)

C3-2\* ワーキングメモリ圧迫下で人々の共感は低下するか

河内 日向乃 (青山学院大学)・清成 透子 (青山学院大学)

C3-3\* 薄顔男性の流行要因とその顔印象から未婚化改善への検討

岡 大貴 (東京工科大学)・榊 俊吾 (東京工科大学)

C3-4 変動と利他行動に関する検討

ークラウドソーシングを用いたオンライン実験からー

後藤 晶 (明治大学)

C3-5\* 場面依存的な東アジア的自己観と欧米的自己観に対する選好

比留間 圭輔 (青山学院大学)・清成 透子 (青山学院大学)

C3-6\* 煙草業界から見る日本国内の健康志向

蛸原 海人 (東京工科大学)・榊 俊吾 (東京工科大学)

## 情報コミュニケーション学会 会員募集のお知らせ

情報コミュニケーション学会（Japan Association for Communication Information and Society）は情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて学際的に研究することを目的とし平成16年2月28日に設立されました。本学会は日本学術会議協力学術研究団体に指定されています。

### 情報コミュニケーション学会 設立趣意書

近年、世界的な規模でのグローバル化・情報化は、私たちの社会生活やライフスタイルに大きな変化を与えています。高度に発達した情報環境の中で、時間や距離を超え、さまざまな人種、文化、宗教、価値観などをもった人々が共存する豊かな共生社会の創造が望まれます。このような中、「情報コミュニケーション学会」は、情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて、学際的に研究することを目的としております。コミュニケーションは、人と人、人と集団、集団と集団の間で生まれます。そこでの情報機器を介したコミュニケーションの働きや社会的役割、問題点などを解きほぐし、情報の収集・処理・発信・伝達など目的を持った主体的なコミュニケーションについても、研究していきたいと考えています。これらの取り組みにより、情報コミュニケーションという概念が、ひとつの新しい分野として確立できることを願っています。また、教育の現場においては、小学校からさまざまな場面でコンピュータが活用され、高等学校では情報を体系的に学ぶために教科情報が設置・実施されるようになりました。学校では先生方の熱心な取り組みにより、試行錯誤を繰り返し、悩みながら、問題を一つひとつ解決しているのが実情です。そこで、本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよい教育をおこなうための原動力になることも願っています。情報コミュニケーション学会については、平成15年2月8日、80名の賛同者を得て設立準備会を実施し、平成16年2月28日の設立総会で正式に発足の運びとなりました。情報コミュニケーション学会設立の趣旨に賛同いただき、多くの皆様にご入会いただきますようお願い申し上げます。

入会申込書ダウンロード URL

<http://www.cis.gr.jp/nyuukai.html>

参考:2021年度の会費等

- ・ 入会金 1,000 円
- ・ 年会費（正会員） 7,000 円  
（但し、幼・小・中・高校教員および教育委員会などの関係者は特別割引制度適応で 3,000 円）
- ・ 年会費（学生会員：学部学生） 1,000 円

## 情報コミュニケーション学会第19回全国大会実行委員会

(敬称略 五十音順)

### 大会実行委員長

- 寺尾 敦 (青山学院大学)

### 大会実行委員

- 鴨谷 真知子 (Cross Media +Design)
- 高見澤 秀幸 (秀明大学)
- 南部 和香 (青山学院大学)
- 西端 律子 (畿央大学)
- 村井 明日香 (桜美林大学)
- 吉田 葵 (青山学院大学)

情報コミュニケーション学会第19回全国大会プログラム

発行日：2022年3月12日

発行者：情報コミュニケーション学会

事務局：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

園田学園女子大学 情報教育センター

E-mail：cis@sonoda-u.ac.jp

URL：<http://www.cis.gr.jp/>